

第1学年 道徳学習指導案

期 日：平成27年10月5日（月）

場 所：芦北町立田浦中学校1年1組教室

指導者：芦北町立田浦中学校 教諭 光永朋樹

- 1 主題名 日本人としての心 C-17 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度
資料名 「熊本スピリッツ」(道徳教育用郷土資料「熊本の心」 熊本県教育委員会)

2 主題について

(1) ねらいとする内容項目(価値)について

本主題は、「優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家および社会の形成者として、その発展に努めること」に関する内容項目であり、日本人としての心についての学習を行う。

日本人としての心とは、自分自身が日本人であるという自覚を持ち、それを大切にしていこうとする心であると考え。日本人としての心が何であるのかという問いの普遍的な答えがあるとは言いがたい。しかし、それぞれに日本人としての心についての考えがあると思われる。その考えに気づき、日本人としての心を大切にすることが国を愛する心につながると考える。

日本人としての心が何なのかを考えるためには、日本人が今まで大切にしてきた文化や習慣を知り、それを伝えてきた人達の思いに触れることが必要であると考え。それらを通して、日本人としての心を誇りに思うことで、日本人としての自覚が芽生え、その文化や習慣を継承していくようになる。そのような心情を育てるべく、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

本学級の生徒は、比較的眞面目で、穏やかな集団である。しかし、自ら積極的に行動したり、自分から集団に対して働きかけたりすることが苦手な生徒が多い。ややもすると、易きに流れたまま、改善しなければならぬとわかっていても行動できないときもある。中学校生活を通して、少しずつ中学生としての自覚が芽生えているが、行動化の広がりがない。

道徳の時間では、多くの生徒が意欲的に意見交換を行ったり、相手の意見に質問したりして授業に参加することができるが、そこから発展的に交流することができていない。

○事前アンケートの結果(30人回答)

①日本を好きだと感じる	とても思う	23人
②日本を誇らしいと感じる	とても思う	18人
③日本をよりよくしたいと感じる	とても思う	19人
④古くからある伝統や文化は大切だと思う	とても思う	27人
⑤古くからある伝統や文化は受け継いでいかなといけないと思う	とても思う	19人
⑥日本のために将来何かしたいと思う		
・思う 22人	どのようなことをしたいのか(人の役に立つこと, ボランティア, ゴミ拾い)	
・思わない 8人	なぜか(どのようなことをしたらよいかわからない 今のままでよい)	

(3) 資料について

本資料は、数々の苦難を乗り越えながら、自己の理想を求め、外国人でありながら日本と日本人を深く愛した文学者であるハーンが、3年間の熊本在住で熊本の美徳の一つである「熊本スピリッツ」、つまり「簡易・善良・素朴」の熊本精神について語るものである。ハーンは、自身が美徳として称賛した「熊本スピリッツ」が世界に誇りうる精神文化であり、日本の理想像、将来の発展のキーワードとしている。このハーンの考えに込められた思いは、日本固有の優れた伝統や文化など、その良さについての理解を深めるきっかけとなる。それについて話し合うことで、我が国の伝統の素晴らしさを再認識し、日本人として自覚を深めさせていきたい。

(4) 指導観

○導入では、外見上日本人と見えない人物に条件を加えていくことで、日本人とは何か、日本人の条件とは何か、日本人に必要な心とは何かということについて課題意識を持たせていく。

○展開前半では、ハーンが称賛した熊本スピリッツについて、なぜそのように称賛したのかという理由を考えることで、熊本スピリッツの重要性やそれを受け継いできた人達の思いを理解させていきたい。

- 展開後半では、これまでの日本の発展を支えてきた熊本スピリッツを踏まえた上で、これから必要な熊本スピリッツについて意見交流しながら考えていく。熊本スピリッツの良さを理解しながら、新しい文化を創っていこうとする気持ちを育てたい。
- 終末では、具体的な視点を持たせて振り返りをさせる。後日振り返りを掲示し、授業を通して感じたことを共有できるようにする。

<p>【視点1】 学びを引き出す 豊かなかわり合いのある 言語活動</p>	<p>【視点2】 学びを振り返る 思考過程の可視化と 学びの振り返り</p>	<p>【視点3】 学びを支える 一人学びのUD化と 効果的なICTの活用</p>
<p>【視点1】 めあてに迫る具体的な課題(テーマ発問)を設定し、それに対して自分の意見を明確にし、意見交流する場を設ける。意見交流しながら、生まれてくる疑問や考えを自由に交流させることで、活発な学びを行い、主体的・協働的な学びを引き出していく。</p>	<p>【視点2】 本時の学習を踏まえた振り返りの場面では、ただ単に感想を記述させるだけでなく、視点を具体的に持たせ、振り返りをさせる。また、生徒のどのような変容をねらい、それをどのような記述内容で確認するのかを具体的に定め、目的を明確にしながら学習を進めることで、振り返りを充実させる。</p>	<p>【視点3】 個人思考の時間を確実に確保する。また机間巡視し、個人の意見が持ちにくい生徒に対して援助を行う。また導入部分では、ICT機器を活用して、授業への動機付けをより確実にやっていく。</p>

◇インクルーシブ教育の視点から

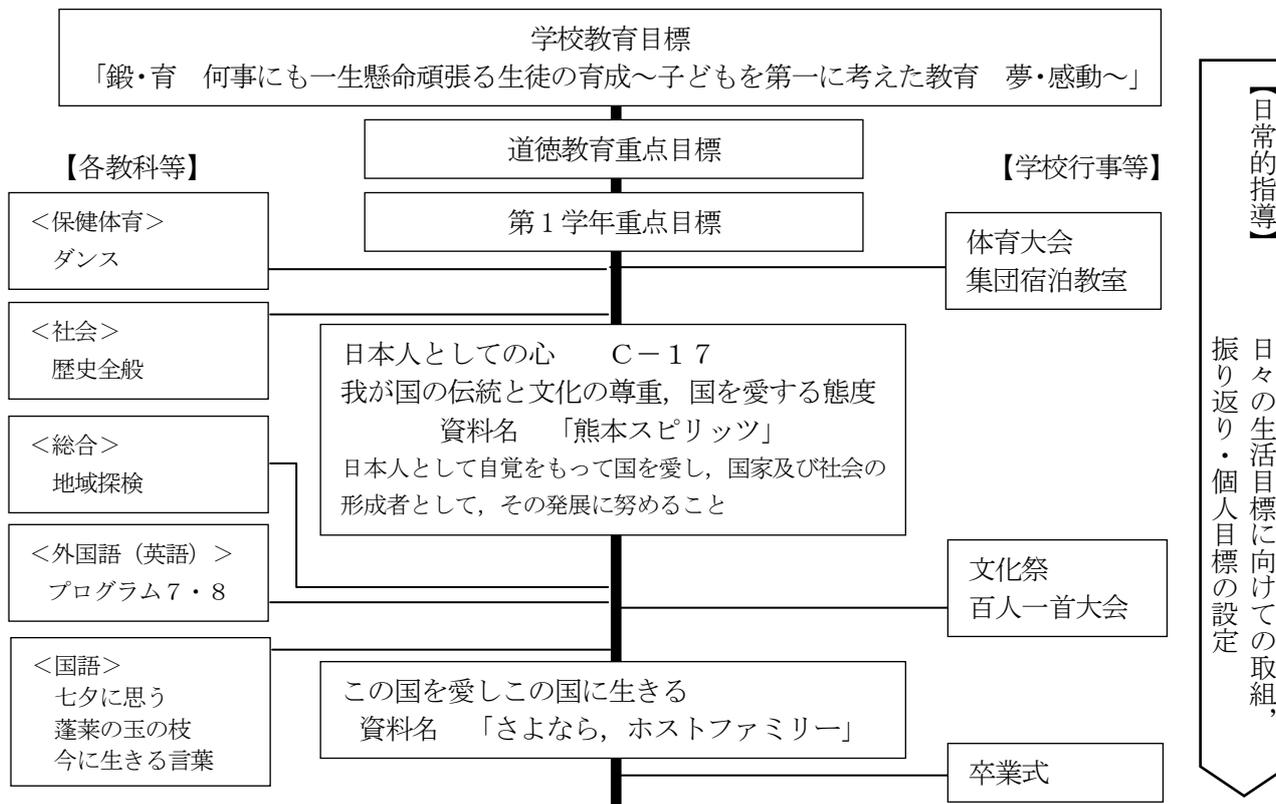
【基礎的環境整備】

- ・学習プリントに発問を記載したり、ICT機器を活用して指示を示したりして、現在の学習活動についての理解を促す。

【合理的配慮】

(省略)

3 各教育活動との関連



5 本時の学習

(1) ねらい

日本人として大切にしなければならない「心」について考えることを通して、日本人としての自覚を持ち、生活していこうとする道徳的心情を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問と生徒の反応	指導上の留意点及び評価	備考
導入 7分	1 学習する内容について確認する。	○この人は日本人ですか。 ・日本人ではない。 ・日本人になるのでは。 ○日本人と判断したのはどの条件からですか。 ・熊本生まれというところ。	・架空の人物に対して、条件を加えながら、日本人であるかどうかを判断していく。それを通して、授業の方向性と目的を生徒に掴ませる。 ・生徒同士で意見交流させながらその判断理由を確認する。	・テレビ ・スライド
展開 38分	【テーマ発問】 日本人の大切な心とは何だろうか			
	2 資料「熊本スピリッツ」を読んで、話し合う。 (1) 熊本スピリッツに込められたハーンの思いを考える。	○日本人とは何なのかということを考えながら聞いてください。 ○ハーンが見つけた「熊本スピリッツ」のよさとは何だろうか。 ・西欧の文化のまねではなく、古い日本のよさを大事にしている。 ・ぜいたくはせず、素朴に生きることが世界にも誇れること。 ◎これから必要な「熊本スピリッツ」とは何だろうか。 ・今までの熊本スピリッツでもいい。 ・思いやり・人への優しさ ○周りの人と意見交流してみましよう。 ○再度聞きます。これから必要な「熊本スピリッツ」とは何だろうか。 (切り返しの発問) ○日本人に必要な心とは何だろうか。 ・日本の伝統や文化を大切にすること。 ・伝統や文化を継承していこうとする人のこと。	・地域に密着した教材を活用し、熊本に関係する偉人のことを知ることで、生徒の思考を促しやすくする。 ・「熊本スピリッツ」がどのようなものであるのかを確認して、発問に入る。必要に応じて説明を付け加えたりする。 ・今までの熊本スピリッツのよさを踏まえた上で考えさせる。新しい意見を付け加えてもよいことを伝える。 ・自分の考えとその理由を持つ時間を確保する。 ・自由に周りの人と意見交流する場を設け、活発に活動するように働きかける。 ・最終的に再度同じ発問をすることを提示し、それを目標に意見交流させる。その際に疑問点などをお互いに問い合うことで思考を深めていくように促す。 ・最初の意見からの変容について着目するようにする。どのように変容したのかをペアで共有させる。 ・授業展開に応じながら、切り返しの発問を行う。必要に応じて、導入での発問内容を振り返るように促す。	・資料 ・学習プリント
まとめ 5分	3 本時の学習を振り返る。	○今日の学習を通して、これからの生活について気付いたこと、新しく考えたことを書いてください。	・授業や資料の感想にならないように振り返る視点を与える。 《評価》(感想用紙) ・日本人として大切にしたい心についての記述内容がある。 ・自分が日本人であるという自覚を持ち、それを大切に今後生活していこうとする記述内容がある。	・感想用紙